

峰のひかり



発行人：社会福祉法人 七峰会
理事長 奥田 稔

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21-8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

拓光園デイサービスセンター始動!!

～より多くのニーズに応えるために～



高長根山でわらび取りを行いました

平成15年4月1日、岩木町初となる、在宅の18才以上の知的障がいの方や自閉症の方々を対象とした、『拓光園デイサービスセンター』が開設されました。

社会生活へ適応できるということばかりではなく、本人自らが、手芸や工作、その他の創作活動、余暇的な外出を通し、楽しんで生活してもらえることを目指し、事業を展開しています。

①個性・意欲を引き出す活動

午前は、センター到着後、バイタルチェック（検温・血圧測定）を行い、活動に入ります。

活動内容は、陶芸・ガラスアート・ビーズアート・園芸など様々なものを用意し、本人にその日、行いたい活動を選んでもらっていますが、自ら選択することで、活動に積極的に取り組むことができます。

②余暇支援と社会参加

先月行われた「桜祭り見学」や「わらび採り」では本当に楽しんで自然と触れ合う姿が見られ、特に「わらび採り」では、自分たちが採ったわらびをお土産に持ち帰ることで、「本当においしかった」

と、本人だけではなく、ご家族の皆さんにも喜んでもらえました。また、弘前文化センターで行なわれた『わたしたちの作品展』では、個性ある作品が数多く展示され好評でした。

③その他のサービスと実施地域

入浴・給食・送迎サービスも行っていきます。

入浴は午後に行っていますが、相談に応じて、午前からの入浴も可能です。

送迎時間についても、営業時間は9時～16時となっております（営業日は年中無休）、ご都合に合わせて相談に応じています。

事業の実施地域は、弘前市・黒石市・五所川原市・岩木町・相馬村・西目屋村・平賀町・尾上町・田舎館村・浪岡町・藤崎町・常盤村・大鰐町・碓ヶ関村・板柳町・木造町・柏村・鶴田町・森田村・鱒ヶ沢町となっております。

これからも、一人ひとりのニーズを大切にし地域における援助の拠点となることを目指して活動していきたいと考えていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

☎0172-96-2331



・盛りだくさんの内容で
大納涼祭は毎年、周辺地域から約千人近い方々が来園し、オープニング恒例の高杉保育園児による和太鼓演奏の他、多彩なイベントを楽しめます。今年の企画については検討の段階ですが、皆様に満足していただけるような内容を考えていますのでご期待ください。ちなみに昨年はメインイベントとして、『たつみけんじ・桂ゆりシヨ』を行いました。

また、焼き鳥、ホタテ焼き、千本引きなど趣向を凝らした十数店の模擬店は例年、「売り切れ御免」の垂れ幕が掛かるほどの人気です。ので、お早めの利用をお勧めします。

・地域との積極的な関わりの中で
この祭りには、地域の青年団が企画段階から積極的に協力してくださっています。会場作りや当日の模擬店の対応はもちろんのこと今年も5月下旬頃から会議をもち模擬店の内容や企画等について話し合い方向性を決めていきます。今では利用されている方々とも気軽に挨拶をする間柄です。

地域との連携でつくり上げた『サンアップルホーム大納涼祭』へのお越しを心からお待ちしています。

特別養護
老人ホーム
サンアップルホーム

今年もやります盛大に!!
夏の恒例行事となった『サンアップルホーム大納涼祭』が、7月27日(日)午後5時からサンアップルホーム中庭で盛大に行ないます。この祭りも今年で17回を数えますが、今までに、ただの一度も雨に当たったことがなく、今から晴天天下で開催できることを関係者一同、祈念しています。

身体障害者
療護施設
山郷館

ますます増える
児童の利用
山郷館では、平成13年度から在宅の障害児(18才未満)を対象とした、シヨートステイを開始し、今年で3年目になりました。

知的障害者
通働寮
拓心館グループ

地域生活の
実現へ向けて
平成15年度の拓心館事業計画の1つには、「自活に直結する支援を行う。できるだけ早く地域での生活ができるよう支援する。年間7名の地域移行を目指す。」と、明確に謳われています。目標達成に向けて始動し早や3か月、支援費制度の開始などで多少の混乱はありましたが、順調な滑り出しと言って良い状況にあります。

最初は1名だけの利用でしたが、現在では6名の方が利用しており、また、電話での問い合わせや見学者も頻繁にあります。

シヨートステイの利用方法は、宿泊と日帰りがありますが、主に学齢児を対象に放課後から夕方まで過ごしていただく、日帰りの利用が多いという現状です。

利用内容としては、食事の練習やトイレトレーニングの他、手指の訓練や歩行訓練などの機能訓練も行っています。子供らしく過ごすことができるような環境を整え、楽しい雰囲気作りとスキップを大切に接しています。また、発達に欠かせない「人との関わり」の幅を広げる場として支援したいと思っています。

利用の仕方や費用等については個人で違いがありますので、お気軽にお問い合わせ、お電話下さい。
TEL 97-2211 山郷館

社会就労
センター
旭光園

「ツツツと」
頑張つてまーす!
旭光園では、ポリ袋・完封割り箸・ラベルなど、機械を操作し製品を製造する作業種の他に、手作業でなければ出来ない内職的な軽作業にも取り組んでいます。訂正シール貼りやポリ袋の折り直し・空き容器の洗浄・名入りタオルやキャンペーン用見本品の袋詰めから葬儀用の飾り花製作など、様々な種類の仕事の依頼があります。時期的に受注量が集中することもありますが、その時は法人内の勇心学園に協力をお願いしています。

軽作業とは言っても、その時々で内容や手順が異なるため、機械を使った作業とはまた違った難しさがあります。軽作業を行うのは手の不自由な方がほとんどですが、リハビリ的な要素もあるため一つひとつ丁寧に仕上げることをメンバーの一人は



キャンペーン商品加工

折り直し

「一度に沢山の数を仕上げることは出来ません。けれども、その分心を込めて確実に仕上げるように心掛けています。自分たちの手掛けた物が店頭に並んでいた、お客様が手にしているところを見たりすると嬉しい気持ちになります。」と話しています。

不況の続く中、こちら側の条件に合った仕事だけを望むことは無理な状況です。これからもいろいろな作業にトライして行きたいと思っています。



楽しくお友達と過ごしている様子が子供の笑顔や機嫌の良さからわかり、うれしく思っています。

お母さん言
「ムに認可される例は少なく、トレーニングホームとして利用しながら、申請が認められ次第、グループホームに移行していく、という形になります。」

まず、いずれにしても幸先の良い事と受け止めています。ただ、その一方で悲しい出来事もありました。今あるグループホームの1軒が、いよいよ建物の老朽化に耐えられなくなり別の物件を探していたところ、以前よりお願いしていた不動産屋さんからこの5月に声が掛かりました。「希望されていた1軒屋の件、近隣の住人に直接会って話をし、了解が取ればお貸しできる」との連絡に、早速支援ワーカが弘前市S町を訪ねました。そのうちの1軒の主婦はハッキリと表情を曇らせ、「反対です。知的な障がいを持つ人が地域で生活したいというのは分かるけど、私の身近に来るとなると話は違うのよ。色んな事件だつてあるんだし。」の返事だったのです。

色々な人がいて色々な価値観があり、それで成り立っている社会です。地域の受け入れに関してパタパタと話がまとまる事もあれば、残念ながら後者のように排斥されることもあります。

ノーマライゼーションの理念を実現していくためにも、私達は、このような誤解が生じないように、地域活動を通してなお一層努力していく必要があると思っています。

第30回評議員会開催される

平成15年5月24日、午後1時30分から弘前市文化センター会議室で、『社会福祉法人七峰会第30回評議員会』が開催されました。定款第13条の定めにより、渡会登氏が議長に互選され、奥田稔理事長からの前回評議員会以降の法人の活動報告に続き、議案審議に入りました。

- ・議案第1号 監事の監査報告、平成14年度事業報告および決算について同意を求める件
- ・議案第2号 定款の一部変更について同意を求める件
- ・議案第3号 規定の一部変更について同意を求める件
- ・議案第4号 平成15年度知的障害者居宅介護等事業、山郷館訪問介護センター黒石の事業計画案と予算案について同意を求める件

以上の議案について評議員会は満場一致で同意されました。

役員全員再選、奥田稔理事長続投
第30回評議員会終了後、『第50回理事会』が開催され、評議員会で同意を得た全議案について満場一致で決議されました。また、任期満了に伴う役員の改選については、理事、監事共、全員が再選となり理事会は奥田理事長を理事長に互選しました。

